

- 問1 多くの日本の製造業が、タイなどの東南アジア諸国に工場を建設し、生産拠点を進出させている背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。なお、統計資料によれば、1時間あたりの賃金は日本が約22.1ドルであるのに対し、進出先である東南アジアの主要国は約1.5ドル程度となっています。 (2019年 福岡県公立入試 類似)
1. 石油や鉄鉱石といった、工業製品の製造に不可欠な地下資源が豊富であるため
 2. 日本国内よりも環境規制が厳しく、より高品質な製品が製造できるため
 3. 生産コストを低く抑えることができる、安価な労働力を確保するため
 4. 現地の労働者の持つ、世界最高水準の高度な先端技術を活用するため
- 問2 タイやマレーシアなどの東南アジア諸国では、1980年代には米や天然ゴムといった農産物が輸出の上位を占めていましたが、2020年には機械類や自動車上位を占めるようになりました。このような輸出品目の変化と、それに伴う経済の状況について述べた文として、最も適切なものを選択してください。 (2025年 秋田県公立入試 類似)
1. 先進国からの工業製品の輸入に依存する体制を強めた結果、国内の製造業が衰退し、輸出総額が減少した。
 2. 外国企業の工場を誘致するなどして工業化を進めたことで、工業製品の輸出が拡大し、急激な経済成長を遂げた。
 3. 国内の消費を優先するために輸出総額をあえて抑制し、自給自足に近い経済体制へと移行した。
 4. 特定の農産物や資源の輸出に頼るモノカルチャー経済を維持することで、国際価格の変動に強い経済構造を築いた。
- 問3 スマトラ島やジャワ島など広大な島々からなるインドネシアの文化的な背景について、周辺の国々と比較した説明として最も適切なものはどれですか。 (2016年 兵庫県公立入試 類似)
1. 中東方面との交易を通じて広まったイスラム教が、多民族を統合する精神的な基盤となっている。
 2. 特定の宗教に偏ることなく、バリ島を中心にヒンドゥー教が国家全体の第一宗教となっている。
 3. タイやカンボジアと同様に、古代から続く上座部仏教が国民の生活の隅々にまで浸透している。
 4. かつてスペインの植民地であった歴史から、フィリピンと同様にカトリックの信仰が主流である。
- 問4 世界の諸地域の位置関係について述べた次の文のうち、緯度や地域の特色に照らして正しい説明を選びなさい。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
1. アフリカ大陸の北東部に位置するエジプトは、北緯30度から45度の範囲に大部分が含まれる、日本と同じ緯度帯の国である。
 2. 北アメリカ大陸の東部は、南緯30度から45度の範囲に含まれており、日本とは緯度の条件が大きく異なっている。
 3. オセアニアに位置するオーストラリアは、北緯30度から45度の範囲に含まれており、日本と季節の変化が全く同じである。
 4. 西アジアに位置するトルコは、日本の本州とほぼ同じ北緯30度から45度の範囲に含まれ、アジアとヨーロッパをつなぐ位置にある。
- 問5 中国を含むアジアの国々で、米の生産量が他の地域に比べて圧倒的に多い理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
1. 大規模な機械化に適した広大な乾燥地帯が広がり、地下水による灌漑が容易だから
 2. 冷涼な気候を好み、少ない水分でも育つため、高緯度地域の広大な平原での栽培に適しているから
 3. 季節風（モンスーン）の影響により、夏の成長期に高温多湿な気候となるから
 4. 人口密度が低く、広大な土地を利用して少人数で効率よく生産できる体制が整っているから
- 問6 中国が急速な工業化を遂げ、世界有数の経済規模を持つに至った要因と、その経済指標に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 秋田県公立入試 類似)
1. 外国との貿易を厳しく制限する鎖国的な政策を維持したことで、独自の工業化を成功させた。
 2. 1970年代末からの改革・開放政策により外資を導入したことで、国民総所得が大幅に上昇した。
 3. 人口が減少傾向に転じたことで一人あたりの所得が劇的に向上し、経済規模が世界一となった。
 4. 国内の農業生産を第一に優先する政策をとったことで、自動車の保有台数が世界最大となった。
- 問7 世界の農作物の生産統計において、生産量の上位に中国、インド、インドネシア、バングラデシュ、ベトナムといったアジア州の国々が並び、それらの地域で人々の主食となっている農作物はどれですか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
1. とうもろこし
 2. 大豆
 3. 米
 4. 小麦
- 問8 フィリピンの気候統計では、年間を通じて気温が25度以上と高く、さらに夏季から秋季にかけては月間降水量が400ミリメートルを超える極めて激しい降雨が記録されます。このような、季節によって吹く向きが変わる風の影響を強く受ける熱帯の気候区分を何といいますか。 (2019年 愛知県公立入試 類似)
1. 熱帯雨林気候
 2. サバナ気候
 3. 地中海性気候
 4. 熱帯モンスーン気候
- 問9 西アジアに位置するある国において、宗教別人口割合を示した資料によると、イスラム教徒が全体の約7割を占め、残りの約3割がその他の宗教を信仰する人々で構成されています。この国の地理的特徴と国名の組み合わせとして最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2018年 愛媛県公立入試 類似)
1. アラビア半島に位置するサウジアラビア
 2. インダス川流域に位置するパキスタン
 3. 小アジア（アナトリア半島）に位置するトルコ
 4. ペルシャ湾の東側に位置するイラン
- 問10 1980年代に中国で最初に指定された経済特区の一つであり、隣接する香港（ホンコン）からの投資や技術を導入することで、小さな漁村からハイテク産業が集積する世界的な大都市へと急成長した都市はどこですか。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
1. シェンチェン（深圳）
 2. ラサ
 3. チョンチン（重慶）
 4. シャンハイ（上海）
- 問11 インドにおいて、連邦公用語であるヒンディー語とともに、英語が「準公用語」として広く普及している歴史的な理由として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
1. 1947年の独立後、アメリカ合衆国とのIT産業での連携を深めるために国策として導入された。
 2. かつてイギリスの植民地であったため、行政や教育の場で共通の言語として使われてきた。
 3. かつてスペインの植民地であったため、キリスト教の布教活動とともに言葉が浸透した。
 4. かつてフランスの植民地であったため、周辺諸国との貿易において共通の言語とされた。
- 問12 1980年から2015年にかけての韓国の輸出の変化について、その特徴を説明した文として正しいものを、品目の構成や輸出額の推移に着目して選んでください。 (2018年 大分県公立入試 類似)
1. 工業化を断念し、精密機械や自動車などの輸入を増やすことで内需主導の経済へと変化した。
 2. 衣類やせんい品の輸出割合は拡大し続け、2010年代に入っても軽工業が経済成長を支えている。
 3. 船舶の輸出が大幅に減少したことを受けて、現在は石油製品の輸出が最も多くなっている。
 4. 輸出総額が30年あまりで約29倍に急増し、機械類が輸出全体の3割を超える最大の項目に成長した。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 生産コストを低く抑えることができる、安価な労働力を確保するため	日本の製造業が東南アジアへ進出する最大の要因は、日本国内と比較して労働賃金が大幅に低いことにあります。1時間あたりの賃金が日本の10分の1以下であるような地域に拠点を置くことで、製品の生産コストを抑え、国際的な価格競争力を高めることが可能になります。このように、安価で豊富な労働力を求める動きは、地理分野における企業進出の典型的な背景です。
問2	答え 2 外国企業の工場を誘致するなどして工業化を進めたことで、工業製品の輸出が拡大し、急激な経済成長を遂げた。	東南アジア諸国では、1980年代には特定の農産物や天然資源の輸出に頼る「モノカルチャー経済」の傾向が見られましたが、その後、外資系企業の誘致などを通じて急速に工業化が進みました。その結果、輸出品目が付加価値の高い機械類や自動車などの工業製品へと移行し、21世紀に向けて輸出総額も急激に増加して著しい経済成長を実現しました。
問3	答え 1 中東方面との交易を通じて広まったイスラム教が、多民族を統合する精神的な基盤となっている。	インドネシアは多様な民族や言語を持つ国家ですが、その多くがイスラム教を信仰していることが国の一体感を生む要素の一つとなっています。歴史的に香辛料貿易の拠点として発展したため、商人を通じてイスラム教が広まりました。なお、選択肢にある仏教はタイなどの大陸部、カトリックはフィリピン、ヒンドゥー教はインドネシア内ではバリ島など一部の地域に限られる特徴です。
問4	答え 4 西アジアに位置するトルコは、日本の本州とほぼ同じ北緯30度から45度の範囲に含まれ、アジアとヨーロッパをつなぐ位置にある。	緯度は気候や地域の位置関係を把握する重要な指標です。トルコは西アジアに属しながらも、その北緯は日本の本州付近と重なっており、地理的にアジアの西端としてヨーロッパに隣接しています。アメリカ合衆国東部は北半球にあり、エジプトはより赤道に近い低緯度（北緯30度以南）に大部分があります。オーストラリアは南半球にあるため、日本と同じ北緯帯に含まれることはありません。
問5	答え 3 季節風（モンスーン）の影響により、夏の成長期に高温多湿な気候となるから	稲作には十分な水と高い気温が必要です。中国から東南アジア、南アジアにかけての地域は、季節風（モンスーン）の影響で夏に多くの雨が降り、気温も高くなるため、米の栽培に極めて適しています。この自然条件が、中国を世界最大の生産国に押し上げる大きな要因となっています。
問6	答え 2 1970年代末からの改革・開放政策により外資を導入したことで、国民総所得が大幅に上昇した。	中国は1970年代末から「改革・開放」政策を推進し、経済特区の設置などを通じて外国の企業や技術を積極的に受け入れました。これにより「世界の工場」と呼ばれるまでに工業化が加速し、国民総所得（GNI）の増大や消費市場の拡大による自動車保有台数の増加といった、世界的な経済成長を成し遂げました。
問7	答え 3 米	生産量の上位をアジア諸国が占めているのが大きな特徴です。米は高温多湿な気候に適しており、モンスーン（季節風）の影響を受けるアジア各地で広く栽培されています。また、単位面積あたりの生産力が高いため、人口密度の高いアジアの国々において人々を支える重要な主食となっています。
問8	答え 4 熱帯モンスーン気候	フィリピンは低緯度に位置するため一年中気温が高いですが、季節風（モンスーン）の影響を受けることで、降水量に明瞭な変化が生じます。特に夏季から秋季にかけて海側から湿った空気を運ぶ季節風の影響で降水量が激増する特徴があるため、熱帯の中でも熱帯モンスーン気候に分類されます。
問9	答え 1 アラビア半島に位置するサウジアラビア	サウジアラビアはアラビア半島の大部分を占める広大な国です。イスラム教を国教としており、国民の多くはイスラム教徒ですが、石油産業等に従事する外国人労働者が多いため、統計上は一定数の「その他の宗教」の居住者が存在します。パキスタンは南アジア、トルコはアジアとヨーロッパの境界に位置するため、アラビア半島の国としての説明には合致しません。
問10	答え 1 シェンチェン（深圳）	シェンチェンは、資本主義経済の拠点であった香港に隣接するという地理的利点を活かすために経済特区に指定されました。現在では「中国のシリコンバレー」とも呼ばれるほど、情報通信技術（ICT）産業などが高度に発展しています。一方、ラサはチベット自治区の都市、チョンチンは内陸部にある直轄市です。
問11	答え 2 かつてイギリスの植民地であったため、行政や教育の場で共通の言語として使われてきた。	インドは長年にわたりイギリスの植民地支配を受けていたため、独立後も行政、司法、高等教育などの公的な分野で英語がそのまま引き継がれました。多言語国家であるインドにおいて、異なる言語を話す人々を結ぶ共通語としての役割も果たしています。
問12	答え 4 輸出総額が30年あまりで約29倍に急増し、機械類が輸出全体の3割を超える最大の項目に成長した。	1980年には約181億ドルだった韓国の輸出総額は、2015年には約5267億ドルに達しており、急激な経済成長を遂げたことがわかります。内容を見ても、1980年に最大だった衣類のシェアは低下し、2015年には機械類が35.2%を占めるなど、産業の発展とともに輸出の柱が移り変わっています。船舶についても、1980年代には上位に入っていなかったものが、2015年には主要な輸出項目の一つとなっています。